

SUMCO株主通信

第17期 中間期

2015年1月1日～2015年6月30日



未来を創造する技術を育てています

半導体シリコンウェーハ

SUMCO

INDEX

- 01 ごあいさつ／連結業績ハイライト
- 03 2015年上期(1-6月期)の事業成績
と3Q累計(1-9月期)の業績見通し
- 04 決算Q&A
- 05 特集：300mmウェーハの成長を
牽引する電子機器・半導体
および300mm需給動向に
ついて
- 07 連結財務諸表
- 09 会社情報
- 10 株式情報・株主メモ



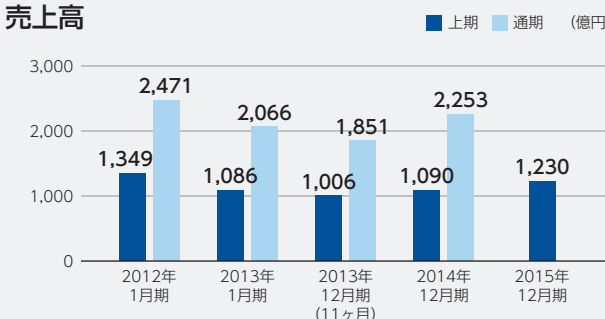
代表取締役社長 (CEO)

橋本 眞幸

SUMCO VISION

1. 技術で世界一の会社
2. 景気下降局面でも赤字にならない会社
3. 社員が生き生きとした利益マインドの高い会社
4. 海外市場に強い会社

連結業績 ハイライト



(注) 日本会計基準。グラフ中の数字は億円未満切り捨て。

ごあいさつ

株主の皆様には日ごろから格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

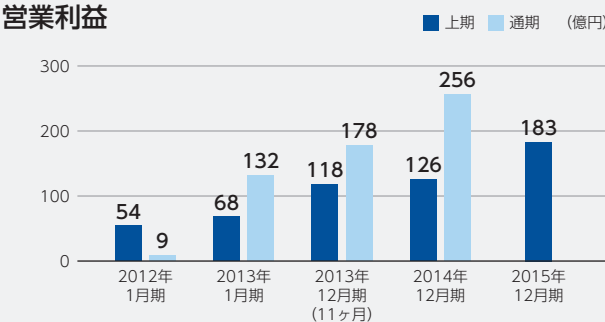
さて、当第2四半期累計期間の半導体市場は、パソコンの世界出荷台数が当初予想より減少した影響を受けたものの、ビッグデータを駆使するための高性能サーバーや、巨大容量が必要なメモリーが集約されているデータセンター向けの需要の拡大、スマートフォンの高機能化、販売台数の増加ならびに、車載民生向けも底堅く、強い需要が継続しました。

これらの半導体の成長を支えるシリコンウェーハは、300mmは主力製品である高精度最先端製品の強い成長に支えられ、引き続きフル生産となりました。

200mmウェーハに関しても、自動車向けや、通信向けの需要が継続し、堅調に推移しましたが、150mmウェーハは200mmへの移行や、パワー半導体の調整もあり、弱含みました。

このような環境の下、当社グループは、「SUMCO ビジョン」で掲げた技術で世界一を目標に、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客でのプレゼンスを高めるとともに、コスト低減による損益分岐点の改善に努めてまいりました。

また、当社グループでは、3月3日に発表した「資本増強・資本再構築プラン」の実行により財務基盤を強化し、今まで以上に柔軟な経営ができる体質になりました。



前記プランの一環として5月11日に実施しました種類株式の取得・消却により優先配当義務がなくなりましたことから、2015年12月期の中間・期末の1株当たり配当金につきましては、株主還元をより充実する観点から、当期における利益水準、次期以降の見通し、設備投資に係る資金需要および内部留保の状況等を総合的に勘案し、中間配当については1株当たり10円といたします。また、期末配当については、1株当たり10円を予定し、年間では1株当たり20円を予定いたしております。

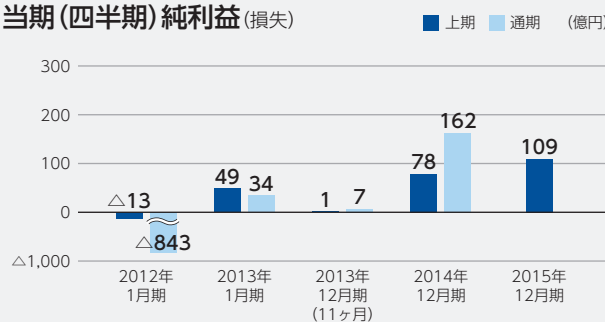
引き続き、先行している最先端技術開発を推進し、またコスト合理化の継続により、収益基盤を更に強化してまいります。

今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 (CEO) 橋本 眞幸

		12/1期	13/1期	13/12期	14/12期	15/12期
普通配当 (円/株)	中間	—	—	—	—	10.0
	期末	—	2.0	1.0	4.0	10.0
	年間	—	2.0	1.0	4.0	20.0

(注) 15/12期の期末配当は予定



代表取締役副社長 (CFO)

瀧井 道治

3月3日に発表した資本増強・資本再構築プランによる公募増資および5月11日に実施しました種類株式の取得・消却により、当社の財務基盤を強化するとともに、資本の安定化により、普通株主様への増配を実施することができました。

今後は、今回の公募増資による資金を活用し、一層の技術競争力強化に向けて、最先端技術開発と高精度ウェーハ製造設備を主体とする設備投資を実施してまいります。これに伴い減価償却費負担が増加することになりますが、技術力による製品の高度化、コスト合理化の継続により、収益基盤を更に強化し、財務体質を一層改善するよう努力してまいります。

株主の皆様には、引き続き中長期的なご支援を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役副社長 (CFO) 瀧井 道治

2015年上期(1-6月期)の事業成績と3Q累計(1-9月期)の業績見通し

決算Q&A

市場環境と事業成績、および、3Q見通し

15年上期
(1-6月)
市場環境

当上期の300mmシリコンウェーハは、パソコン販売不振の影響はあったものの、データセンター向けメモリー需要の拡大や、スマートフォンの台数増加・高機能化により月平均500万枚超の強い需要が継続しました。

また、小口径ウェーハは、150mmは弱含みでしたが、200mmは車載や民生向けが底堅く、総じて堅調に推移しました。

15年上期
(1-6月)
事業成績
トピック

このような環境のもと、当社グループでは、引き続き「SUMCOビジョン」の方針に基づき、顧客の高精度化要求や製品の差別化に対応した技術開発により顧客でのプレゼンスを高めるとともに、コスト低減による損益分岐点の改善に努めました。

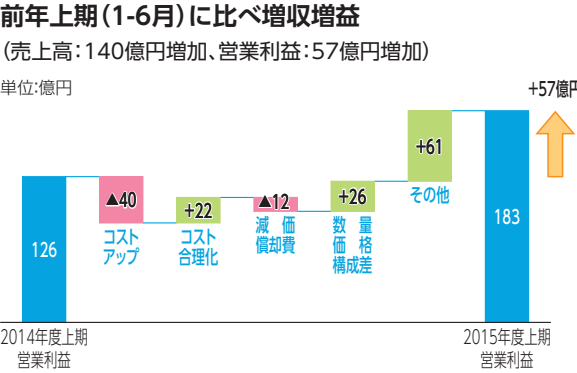
あわせて、公募増資を伴う「資本増強・資本再構築プラン」の実行により財務基盤を強化し、今まで以上に柔軟な経営ができる体質になりました。

その結果、上期(15年1-6月期)の連結業績は、売上高1,230億円、営業利益183億円、経常利益153億円、当期(四半期)純利益は109億円となりました。

今後の
見通し

7-9月期の300mmシリコンウェーハは、パソコン販売の不振に加え、スマートフォンの数量調整の影響を受け一時的な調整になると予想しています。また、200mmウェーハは若干の季節調整の影響を受けるものの総じて堅調ですが、150mmウェーハは需要の減少が継続すると予想しています。このような市場見通しのもと、2015年度3Q累計の連結業績については、下表のように予想しています。

営業利益増減分析(14年上期→15年上期)



2015年度3Q(1-9月)累計 連結業績予想

前年同期に比べ増収増益
(売上高:136億円増加、営業利益:50億円増加)

単位:億円

項 目	2014年 3Q累計実績 (1-9月)	2015年 3Q累計予想 (1-9月)	増減額	増減率
売 上 高	1,674	1,810	+136	+8.1%
営業利益	198	248	+50	+24.9%
経常利益	167	213	+46	+26.8%
純 利 益	127	149	+22	+16.8%

注1)業績予想等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報、および、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

注2)本業績予想は、7-9月 1ドル=123円を前提としています。

2015年8月6日に開催しました決算説明会における主な質疑応答をご報告します。

Q 配当の考え方について
教えて欲しい

A

今までは、種類株式の優先配当がありましたが、今年5月に種類株式を買取・消却しましたので、配当の柔軟性が高まりました。

基本的には、当年度の利益水準と将来の利益見通し、および、設備投資などの資金需要や内部留保の状況等を総合的に勘案した上で、柔軟かつ積極的な株主還元(配当)を実施していく方針です。

今後は、3割程度の配当性向を目標に経営をしてまいります。

なお、今年度の配当につきましては、下表の通りを予定しております。

Q 300mmの需給と価格について
教えて欲しい

A

300mmは昨春以降、非常に強い需要が続いています。特に今年前半、全世界で月平均500万枚を超える出荷が継続しました。

今年後半の需要は、一時的にマイルドな調整がありそうですが、2015年～2016年に顧客の設備増強投資により、約30万枚／月の需要増が見込まれております。

一方、300mmの供給能力は、調査会社や当社の推定によると、最大でも500万枚弱／月と推察され、また、現行価格水準での能力増強投資は難しいと考えられるため、需給は益々逼迫していく見通しです。

2015年度配当予想 (単位:円/株)

	2014年度	2015年度
中 間	(実績) —	(実績) 10.0
期 末	(実績) 4.0	(予定) 10.0
年 間	(実績) 4.0	(予定) 20.0



このような需給環境の中、2015年は値戻し交渉が始まり、一部ではありますが、リーマンショック以来8年ぶりの値戻しが実現しました。

300mmウェーハの成長を牽引する電子機器・半導体および300mm需給動向について

シリコンウェーハはテクノロジーの根源

シリコンウェーハは、私たちの暮らしを豊かにする多彩な電子製品を作るのに欠かせない材料です。

■スマートフォン

300mmシリコンウェーハは、今年前半、月平均約500万枚が出荷され、その内スマートフォン向けは、おおよそ1/3程度と推察されています。

スマートフォンは、2007年に米アップル社の製品が登場して以来、韓国・日本・台湾・中国製など様々な製品が市場に投入され、2014年には世界で約13億台が出荷される一大電子製品となりました。

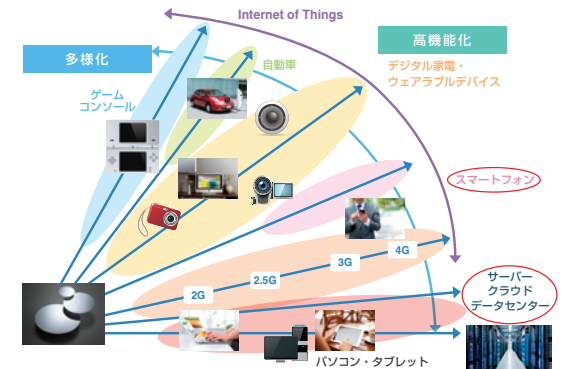
米国・日本・欧州・および中国ではスマートフォンの普及率はかなり高まっており、今や買い替え需要が主流です。しかしながら、インド・東南アジア・中東・アフリカなどでは普及率はまだまだ低く、例えば人口約12億人のインドでの普及率は約10%程度とされています。

今後は、先進国および中国での買い替え需要に加え、これら中国以外の新興国での普及が加速して行くと見込まれており、今年も約14.5億台、来年も約16億台超と、毎年1億台を超える出荷台数の増加が見込まれています。

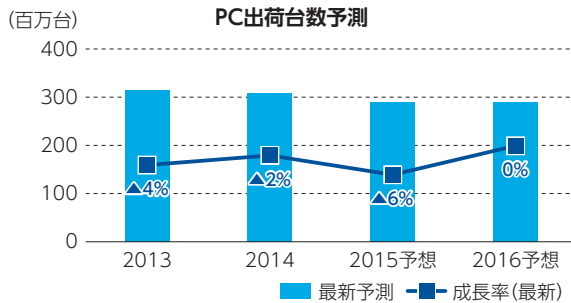
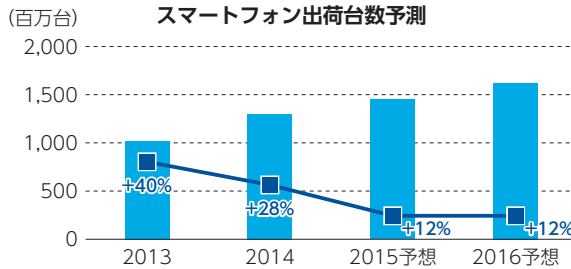
■パソコン(PC)

一方、PCは、2010年頃から急速に普及したタブレット端末や大画面スマートフォンにその需要を浸食され、出荷台数の減少が続きました。足許ではまだPC販売の不振は続いていますが、来年以降のPC出荷台数は下げ止まり、将来的には企業向けを中心とした堅調な需要により、年間約3億台前後の出荷が見込まれています。

多彩な電子製品に牽引される半導体とシリコンウェーハ



スマートフォンとパソコン(PC)の出荷台数予想



【出典: SUMCO 推定】

PC向け半導体に使用される300mmウェーハは、300mm需要の約2~3割と推察され、300mm需要を支える分野です。

スマートフォンは、出荷台数が増加する中、高級機種は益々高性能化し、中級機種も一世代前の高級機種の機能を持つようになっており、台数増加とともに高性能化とメモリーの大容量化が進展しています。

■IoT(モノのインターネット)

また、スマートフォンに加え、今後は自動車や産業機械などさまざまなモノがインターネットに繋がるIoT (Internet of Things) の時代を迎えようとしています。

膨大に増加する通信データを蓄積し処理するデータセンター向けの半導体需要が益々増加していく見込みです。

高級~中級機種のスマートフォンやデータセンター向けに使用される半導体は、最先端のロジックやDRAM・NANDメモリーが搭載されており、その需要は年々高まっています。

半導体メーカーは、そのような需要に応えるため、今年~来年と300mmウェーハを使用する最先端半導体への投資を増やし、300mmの生産能力を増強する見込みです。

■需給動向

このような環境の中、300mmの需給バランスは、今後年々逼迫すると予想されています。

特に、最先端の半導体に使用される高精度300mmシリコンウェーハの需要が伸びると予想され、当社が得意とする分野での需要の拡大は、今後の成長の原動力になると考えています。

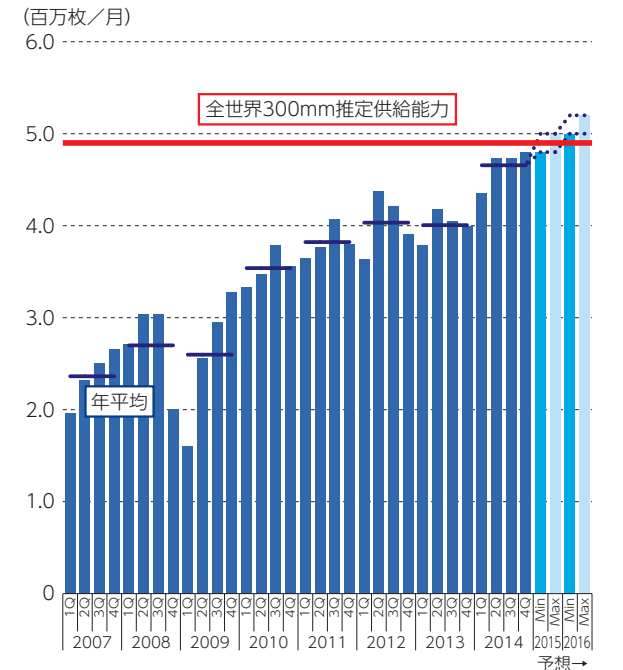
半導体設備投資(投資の背景と300mm増加キャパ)

・スマートフォンの高性能化・メモリーの大容量化の進展
・通信機器向け需要牽引(スマートフォン・データセンター向け)
(単位: 千枚/月)

直径	半導体	2015	2016	備考
300mm	ロジック	50	95	最先端投資
	メモリー	70	65	3D-NAND、DRAM20nm化投資
	計	120	160	
200mm		50	120	欧州・アジア地区での能力増強

【顧客情報などを基にSUMCO作成】

300mmウェーハの需給動向



【出典: SUMCO 推定】



連結財務諸表



第17期 中間期 株主通信

単位:百万円

連結損益計算書(要約)

	前上期 2014年1月1日～2014年6月30日	当上期 2015年1月1日～2015年6月30日
売上高	109,022	123,074
売上原価	84,931	92,082
売上総利益	24,090	30,991
販売費及び一般管理費	11,483	12,641
営業利益	12,607	18,350
営業外収益	276	248
営業外費用	2,530	3,259
経常利益	10,353	15,339
税金等調整前四半期純利益	10,353	15,339
法人税等	1,326	2,357
少数株主損益調整前四半期純利益	9,026	12,982
少数株主利益	1,203	2,068
四半期純利益	7,823	10,913
設備投資額	4,569	5,792
減価償却費	9,296	10,465
EBITDA	22,696	29,636

当上期の連結損益計算書のポイント (文中金額は億円未満切捨て表記)

売上高

300mmシリコンウェーハは、年初来強い需要のもとフル生産が継続し、200mm以下の小口径も総じて堅調に推移した結果、売上高は前年同期比140億円増の1,230億円になりました。

営業利益

売上増に伴う数量効果や円安による為替差益に加え、コスト低減も進めた結果、営業利益は前年同期比57億円増の183億円になりました。

経常利益

営業外収益の2億円を加え、支払利息17億円を含む営業外費用32億円を差し引いた結果、経常利益は前年同期比49億円増の153億円になりました。

四半期純利益

法人税等23億円、および、少数株主利益20億円を差引いた結果、当期純利益は前年同期比30億円増の109億円になりました。

設備投資 他

設備投資金額(検収ベース)は57億円、減価償却費は104億円で、EBITDAは296億円でした。

※EBITDA:営業利益+営業内減価償却費+のれん償却額で計算され、利益水準を示す指標の一つ

単位:百万円

連結貸借対照表(要約)

	前期末 2014年12月31日	当期末 2015年6月30日
(資産の部)		
流動資産	265,787	261,690
固定資産	244,783	238,471
資産合計	510,570	500,162
(負債の部)		
流動負債	112,556	102,917
固定負債	181,288	154,716
負債合計	293,845	257,633
(純資産の部)		
株主資本	183,220	204,693
その他の包括利益累計額	1,781	4,040
少数株主持分	31,723	33,794
純資産合計	216,725	242,528
負債純資産合計	510,570	500,162
自己資本比率	36.2%	41.7%
ネットD／Eレシオ	0.8	0.7

単位:百万円

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	前上期 2014年1月1日～2014年6月30日	当上期 2015年1月1日～2015年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,727	15,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,718	△ 5,843
フリー・キャッシュ・フロー	8,008	9,461
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,954	△ 24,545
現金及び現金同等物の増減額	△ 398	△ 14,274
現金及び現金同等物の期末残高	62,502	51,442

当上期の連結貸借対照表、および、連結キャッシュ・フロー計算書のポイント (文中金額は億円未満切捨て表記)

資産合計

現預金等の減少などによる流動資産の40億円減少、償却進行などによる固定資産の63億円減少により、資産合計は前期末比104億円減の5,001億円となりました。

負債合計

有利子負債(長短借入金+リース債務)の318億円減少などにより、負債合計は前期末比362億円減の2,576億円となりました。

純資産合計

四半期純利益の計上に加え、新株発行、種類株式の取得・消却などにより、純資産合計は前期末比258億円増の2,425億円となりました。

※自己資本比率:総資産に対する自己資本の割合

※ネットD／Eレシオ:自己資本に対する純有利子負債の割合

自己資本比率、ネットD／Eレシオ

自己資本は前期末比237億円増の2,087億円となり、自己資本比率は41.7%、ネットD／Eレシオは0.7倍となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の増加などにより前年同期比35億円増の153億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に設備取得による支出により前年同期比21億円増の△58億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

新株発行による収入、種類株式の取得による支出、長期借入金の返済、配当金の支払などにより△245億円となりました。



会社情報

(2015年6月末現在)

会社概要	
商号	株式会社SUMCO
本社	〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 Tel：03-5444-0808 http://www.sumcosi.com/
設立年月日	1999年7月30日
資本金	138,718百万円
従業員数	連結 7,529名 単体 3,503名
IRお問い合わせ先	広報・IR室：03-5444-3915
取締役および監査役	
取締役社長	橋 本 眞 幸 ※ ¹
取締役副社長	瀧 井 道 治 ※ ¹
取締役	遠 藤 晴 充
	降 屋 久
	平 本 一 男
	井 上 文 夫
	中 岡 誠 ※ ²
常勤監査役	三 富 正 博 ※ ²
	目 代 史 朗 ※ ²
	吉 川 博
監査役	片 濱 久
	田 中 等 ※ ³
	山ノ辺 敬 介 ※ ³
	上 原 学 ※ ³

※¹代表取締役 ※²社外取締役 ※³社外監査役

事業所		
本社	東京	
営業拠点	東京、大阪、福岡	
製造拠点	九州事業所 伊万里工場（佐賀県伊万里市）	
	九州事業所 佐賀工場（佐賀県杵島郡江北町）	
	米沢工場（山形県米沢市）	
	千歳工場（北海道千歳市）	
	JSQ事業部（秋田県秋田市）	
連結子会社		
国内	SUMCO TECHXIV株式会社	（長崎、宮崎）
	SUMCOテクノロジー株式会社	（千葉）
	SUMCOサービス株式会社	（佐賀）
	SUMTECサービス株式会社	（長崎）
	SUMCO保険サービス株式会社	（長崎）
	日本台塑勝高株式会社	（佐賀）
海外	SUMCO Phoenix Corporation	（米国）
	SUMCO Southwest Corporation	（米国）
	SUMCO Funding Corporation	（米国）
	STX Finance America, Inc	（米国）
	SUMCO Personnel Services Corporation	（米国）
	SUMCO Europe Sales Plc	（英国）
	PT. SUMCO Indonesia	（インドネシア）
	SUMCO Singapore Pte. Ltd.	（シンガポール）
	FORMOSA SUMCO TECHNOLOGY CORPORATION	（台湾）
SUMCO Taiwan Technology Corporation（台湾）		



株式情報

(2015年6月末現在)

株式の情報		
発行可能株式総数	普通株式	803,999,100株
	A種種類株式	450株
	B種種類株式	450株
	計	804,000,000株
発行済株式総数	普通株式	293,285,539株
株主数（普通株式）	54,111名	
大株主の状況（千株未満切捨て）		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日鐵住金株式会社	53,933	18.39%
三菱マテリアル株式会社	53,933	18.39%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	13,753	4.69%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	8,900	3.03%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	7,305	2.49%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	6,656	2.27%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	5,296	1.81%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,478	1.53%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,462	1.52%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	4,011	1.37%
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区	
郵便物送付先	〒168-0063	
電話照会先	Tel：0120-782	
インターネットホームページURL	http://www.sr	

株主メモ



第17期 中間期 株主通信

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月開催	
基準日	定時株主総会 期末配当金 中間配当金	毎年12月31日 毎年12月31日 毎年6月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	
単元株式数	100株	
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページ（http://www.sumcosi.com/）に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。	
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：3436）	

ホームページのご案内

当社は多くの株主・投資家の皆様にご利用いただけるよう、ホームページの充実を図っております。決算関係資料やニュースリリースなどのほか、当社が製造するシリコンウエーハについての情報なども掲載しております。ぜひご利用ください。

SUMCOホームページ <http://www.sumcosi.com/>

■ **株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会**
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお手続きおよびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

■ **単元未満株式の買取請求について**
当社では、市場でお取引できないご所有の単元（100株）未満株式に対して、買取請求制度を採用しております。買取手続の詳細につきましては、お取引証券会社または当社株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

For All Innovation

シリコンウェーハは、普段生活する上では殆ど目にすることがありませんが、あらゆる電子機器に採用されているもので、実は生活に欠かすことができない製品です。

様々な技術革新が電子機器を進化させ、私たちの暮らしを豊かにし、文明を進化させます。より小さく、より大きく、より軽く、より強く、より早く。

技術者達は、過去の偉人達に挑戦し続け、乗り越え、革命を起こします。そして、その挑戦に必ず必要なのがシリコンウェーハの進化です。

社会の進展、人類の進化のためのあらゆる技術革新に貢献する企業であるために、SUMCOは、挑戦し続けます。

株式会社SUMCO

〒105-8634 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館

Tel:03-5444-0808

<http://www.sumcosi.com>

見通しに関する注意事項

本資料に記載された予測・予想・見込み・その他の将来情報および将来推定は、現時点当社が利用可能な情報および一定の前提または仮定(当社の主観的判断に基づくものを含みます。)に基づくものです。

実際の業績などは、国内外の経済情勢、半導体市況、為替動向、その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報および将来推定と大きく異なる可能性があります。



環境保護のために、
大豆インクを
使用しております。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。